

市政おおの

56. 11. 1
No.348



掛け軸一筋に

山腰与八郎さん（南六呂師、84歳）は、掛け軸をかき始めてもう60年にもなる。

これまでにかき上げた作品は観音様・天神様七福神・山水など200本以上。

いのちをこめた筆先から生まれる絵には、深い人生の年輪がある。

顔を輝かせ張りのある声で山腰さんは言う「死ぬまで描き続けたい」と。

雑木の有効利用図る

チップ加工場を建設

大野市森林組合



基礎工事が進む加工場

雑木の有効利用を図るため、大野市森林組合は9月からチップ加工場の建設を進めています。

場所は吉の国道158号線バイパス北側で、敷地は2,800平方メートルです。

これは昨年度から取り入れている新林業構造改善事業の一環で、国・県・市の補助を受けて建てているものです。

加工場は鉄骨平屋建て819平方メートル管理棟は同じく81平方メートルで、年内には完成の予定です。機械類を含めた総事業費は1億5,800万円です。

チップ加工用の機械は最新鋭のもの

が備えられ、一貫した流れ作業によって処理されることとなります。

加工は、まず原木を製材し、チップ用の木と用材に使う木に選別します。さらにチップ用は皮をはぎ切断した後、大きさをそろえてサイロに送り、そこからトラックで出荷するという方式です。

年間加工量は、当面5,000立方メートル

の予定ですが数年後には8,000立方メートルまで増やす計画です。

造林作業ではかなりの雑木が伐採されますが、搬出するほど採算が合わないため、これまでそのまま放置しておくケースも少なくありませんでした。今後はそうした雑木の有効利用と林業家の収入増に、大いに役立てられることとなります。

真名川河川敷(富田大橋下流)

多目的広場に整備

54年度から、真名川の富田大橋下流左岸の中保地係で始まった多目的広場の整備事業は、順調に進められています。

これは、真名川ダムの完成によって洪水の心配がなくなった河川敷を有効に利用するため、福井県が国の3分の1の補助を受けて着手しているものです。

整備を進めている区域は、延長約500メートル。面積は5ヘクタールになります。

54・55年度はそれぞれ900万円、今年度は1,500万円が投入されてお

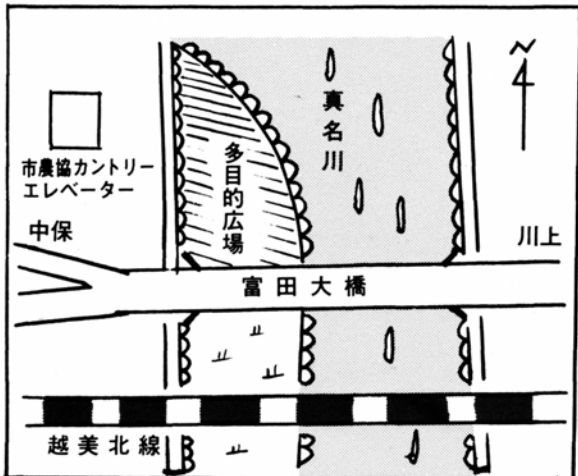
り、赤土を入れて整地するとともに低水護岸工事を行っています。

現在、全体の7割に当たる下流域の3.5ヘクタール(利用可能面積は約2.5ヘクタール)の造成がほぼ終わりました。

残る1.5ヘクタールの造成も、来年度には完了する見込みです。

その後は、市でさらに整備を進める方針で、将来は芝生広場をはじめサッカーやテニスのコートも備えた多目的広場として広く一般に開放されることとなります。

県の真名川河川敷環境整備事業の全体計画では、富田大橋までの区間が完了すると、さらに君が代橋までを整備することになっています。富田大橋～君が代橋の区間は総延長約1,300メートル、面積約13ヘクタールに及ぶ広大なものですが、長期的展望にたつて計画的に進めることになっています。



市内には九頭竜川をはじめ真名川など、いくつもの川があり、私たちの毎日の生活に欠くことの出来ない大切な役割を果たしています。市は主な河川の水質状態をチェックするため、47年から毎年化学的な水質調査を行っています。このほど今年の調査結果がまとまりましたので、紹介しましょう。

水質調査まとまる

主要河川は良好です

市街地では依然赤信号



汚濁が目立つ市街地河川（木瓜川）

調査は春と秋の2回行われ、採水したのは九頭竜川・真名川・清滝川赤根川の主要河川と、市街地を流れる木瓜川・善導寺川・縁橋川・新堀川・中野下水路の9河川です。

調査結果は表のとおりです。全体的にみると、主要河川はほぼ良好な状態で「きれいな川」と言えますが市街地の河川は昨年よりは良好でしたが、依然汚濁しています。この傾向は下流ほど強まるようです。

調査項目ごとに見てみましょう。PH（水素イオン濃度）は7が中性で、それより数値が大きければアルカリ性、小さければ酸性です。春の調査で真名川の値が基準を多少超え

ているほかは、各河川とも良好です。

BOD（生物化学的酸素要求量）は水中の汚物を無害なものに分解する好気性微生物が必要とする酸素の量です。これが少ないほど、きれいな水と言え、通常3PPM以下で魚（アユ）が住めるとされています。

善導寺川・縁橋川・中野下水路は主要河川に比べると汚れが目立ちます。特に下流域ほど高い数値がでていますが、それでも従来よりは安定していると言えます。

DO（溶存酸素量）は水中に溶けている酸素の量で、魚が生存するには最低5PPM必要とされています。最も低いのは中野下水路の5.8P

PMですが、どの河川も良い結果が得られています。

SS（浮遊物質）は水に溶けない半径2 μ m以下の粒子状の濁りが浮遊している量を言います。水温にもよりますが、通常10PPM以下が望ましいとされています。主要河川は安定した数値がでていますが、市街地河川はやや高めです。善導寺川は昨年25PPMを超える数値でしたが、今年は改善の様相を示しています。

きれいな水を守るには

今年の調査結果では、ほとんどの河川は横ばいか、やや改善の兆しが見られます。しかし、近年は人口の市街地への流入増加や産業経済活動の発達によって、市街地河川の汚濁が進みつつあります。

汚濁の直接的な原因としては①家庭の生活雑排水②工場排水③水洗便所の管理不徹底④ゴミの投げ捨てなどが挙げられます。

根本的に改善するには下水道を整備することが大切であり、市としても「基本計画」に沿って努力しています。

しかし、当面は私たち1人ひとりの心掛けで守っていかねばならないことは、言うまでもありません。

ゴミの投げ捨てなどは論外ですが洗剤は石けんや無リンのものを使ったり、町内で定期的に清掃するなどして、自らの生活環境を守るようにしたいものです。

今年の検査結果

調査項目の()の数値は真名川的环境基準を示す

河川名	場所	PH		BOD		DO		SS	
		(6.5~8.5)	(6.5~8.5)	(3PPM以下)	(3PPM以下)	(5PPM以上)	(5PPM以上)	(25PPM以下)	(25PPM以下)
九頭竜川	新田	7.9	7.9	0.7	1.3	10.2	9.5	1	2
真名川	中保	8.8	7.6	0.8	1.1	9.8	9.3	2	3
清滝川	南新在家	7.2	6.9	1.5	1.2	9.7	9.2	5	3
赤根川	清滝	6.5	6.9	1.2	1.2	9.0	8.8	1	4
木瓜川	幸町	7.1	7.4	1.8	1.2	9.4	8.8	6	21
	陽明町2	6.5	6.9	2.4	1.8	8.9	9.3	4	1
善導寺川	弥生町	6.9	7.3	2.9	3.1	9.3	9.0	5	7
	中荒井町2	6.5	6.7	6.5	3.4	6.6	7.3	17	6
縁橋川	月美町	7.4	7.2	2.2	3.1	9.3	8.2	24	1
	中野	6.9	6.7	3.2	6.4	9.0	7.4	4	10
新堀川	篠座町	7.1	7.6	2.0	1.5	8.4	9.1	5	7
	城町	6.6	6.6	0.9	2.2	6.3	8.4	3	3
中野下水路	中野町1	6.6	6.6	5.3	5.8	6.3	5.8	3	12

(注) 前者は春季、後者は秋季の結果。

身の回りに無駄はないですか

「備えあれば憂いなし」ということわざがあるように、日ごろからの貯蓄はゆとりのある生活を送ったり、不意の出来事に備えるために欠かせないものです。貯蓄といっても単に金銭だけのことでなく健康の貯蓄、知識の貯蓄、人間関係の貯蓄などがあるとされています。そういう意味では、貯蓄は人間が人間らしく生きる手段であるとも言えます。市内には地域ぐるみやグループ・個人でさまざまな形の「貯蓄」に取り組んでいる人がいます。

貯

地区ぐるみで多彩な活動

春日2丁目西区

春日2丁目西区は53～55年の3年間、県の貯蓄実践地区の指定を受け婦人会が中心となって取り組み大きな成果を挙げました。

指定期間が終わった今年も引き続き地区ぐるみで運動を進めています。

まず「自分の生活の見直しから、ということで、家計簿の記帳から始めました。会員同志が励まし合って取り組んだ結果、1年間で74%の人が付けるようになりました。

「1年間家計簿を付けた結果、うちは特に光熱費が多すぎること気づきました。家族でよく話し合っ

て電灯をこまめに消したり、フロの入り方などを工夫した結果、今では以前の約3分の1の経費が節約出来るようになりました」と、古川きみ子さんは話しています。

次に進めたのが水を大切にすることです。調査の結果、水道の栓をこまめに止めると、出しっ放しの場合の5分の1でいいことがわかり、チラシを配って節約を呼び掛けました。

さらに、子供の非行化防止を進めるため補導部と協力して、子供会全員に小遣い帳を付けるよう指導したり、映画会や親子レクリエーションなども活発に行いました。

不用品の交換会は、いつも好評で300点以上の品物もアツという間に売れてしまいます。

今年は区全体の課題としてゴミ問題に取り組んでおり①ゴミの量を少なくする工夫②生ゴミのたい肥化などを実践目標に掲げるとともに、市全体の運動として盛り上げようと意気込んでいます。



人気ある不用品の交換会

生活文コンクールに107点

特選に井部君と松田さん

大野市貯蓄推進委員会が小学6年生を対象に募集した「生活文」の入賞者が決まりました。

このコンクールは、金銭の尊さや貯蓄の大切さなどの認識を深めても

らおうと、同会が毎年行っているものです。

今年は107点の応募がありました。審査の結果、特選に井部靖之君(有東小)と松田さおりさん(森目小)

の2人が選ばれたほか、次の皆さんが入賞しました。(敬称略)

〈入選〉石塚一恵(有南小) 広瀬美由紀(有東小) 山本尚登(同) 鈴木康博(下庄小) 林博子(阪谷小)

〈佳作〉多田和代(有西小) 田中恵子(同) 山田輝雄(有南小) 笹島喜美子(有南小) 小林幸恵(乾側小) 宮本美由紀(下庄小) 松田美和(同) 印牧恒和(上庄小) 久保田芳恵(富田小) 坂本浩樹(蔵生小)

節約と工夫でゆとりの生活を

貯蓄は金だけでない

山奥さんは35年から市の貯蓄推進委員として、積極的に推進活動を続けるかたわら、持ち前のアイデアを生かしながら実行している実践者の一人です。

貯蓄は単に金銭だけでなく知恵・道徳・芸術・体力など、人類に役立つすべてが含まれるという自論の持ち主です。歴史にも関心を持っていますが、なかでも5年間にわたって県内の“仏足跡”を調べてまとめあげ、心と頭の貯蓄が出来たと喜んでいます。

昨年奥さんが亡くなってからは、家庭のこともすべて自分でしていますが、とりわけ、家計簿

山奥 巖さん（日吉町）
を付けることに努力しています。そのせいもあって、以前にもまして水を大切にしたり、ゴミの出し方も工夫するようになりました。

「最近では子供の非行化が目立ちますが、これは金銭教育に問題があると思います。親の愛情は金ではなく、豊かな心の貯蓄、をさせてやることではないでしょうか」と話していました。



家計簿を付ける山奥さん

余分な食品の見直しから

木本 大西出婦人会

木本大西出の婦人会（北山静子支部長、会員24人）では、今年から本格的に“貯蓄運動、を会の活動として進めています。この村でも若い人が仕事に出掛けるため、各家庭で野菜を作っているにもかかわらず買って来ることが多いため、まず自給野菜を見直すことから始めました。

家で何を作っているのか、それがいつごろ取れるかなど、姑（しゅう

と）さんと嫁さんの会話ははずむので、家庭円満にも大変効果を挙げています。

さらに、各家庭の冷蔵庫には食品がいっぱい入れてあり、中には食べないうちに腐ってしまう物もあります。このため、毎週1回は冷蔵庫の中を空にして、無駄な食品を入れないようにもしています。

「そのほか、最近では特に子供のお小遣いが多すぎていろいろ問題が起きていますし、身の回りにはまだまだ無駄なことがいっぱいあります。私たちが手を取り合って改善しなければならぬと思っています」と、北山さんは話していました。



自家野菜を購入価格に見直す皆さん

釣りざおは僕の宝物

有東小 井部 靖之くん

僕は釣りが大好きです。でも、今までは竹の釣りざおだったので、もっと軽くて長い丈夫なざおが欲しかったです。2カ月間の小遣いを一銭も使わないで、新しいざおを買ったことについて書きました。

友達がお菓子を買っていても我慢しました。新しいこのざおは僕の宝物です。大切に大切に使っています。



欲しかった裁縫箱

森目小 松田 さおりさん

去年から家庭科があるようになったので、新しい裁縫箱をお母さんにねだったことを書きました。

箱にきれいを巻いて作ってくれたのですが、みんな新しいものを持っていたので私も欲しかったんです。でも、今はなぜあんなに何回もねだったのかわかりません。何でもすぐに買わないで代わりになる物がないか考えます。





親鸞『歎異鈔』

人間の本質に迫る洞察

巖 規子さん (錦 町)

子供のころから読書は好きでしたので、手当たり次第にいろんな本を読んできました。

若いころの私の心の指標となり、支えとなってくれた本はロマン・ロランの「ジャン・クリストフ」です。人生に真正面から立ち向かって力強く生きる主人公の姿に感動し、人間ってなんて素晴らしいんだろうと思いました。

しかし、年を重ねるにつれ、いろいろな出来事につかかって自分の無力さを思い知らされることも……。

そんなときに私を励ましてくれるのが『歎異鈔』です。「善人なほもて

往生を遂ぐ、いわんや悪人をや」という有名な言葉を知っている方も多いと思いますが、人間の本質をよくもこんなに鋭く、しかも温かく洞察したものだと驚かされます。

天藤真『大誘拐』

奇抜な発想と楽しい内容

椿原 一郎さん (中荒井町2)

月に10冊くらい読んでいます。文庫本が手軽で便利です。

特にジャンル(種別)にはこだわらない主義ですが、気に入った作品があったらその作家の作品をくまなく読むことにしています。

最近の純文学作品は、表現のユニークさ、言葉のテクニックなどに走って、内容的にはやや乏しいのではないかと思います。

それに比べ、中間小説といわれる作品の中に、内容

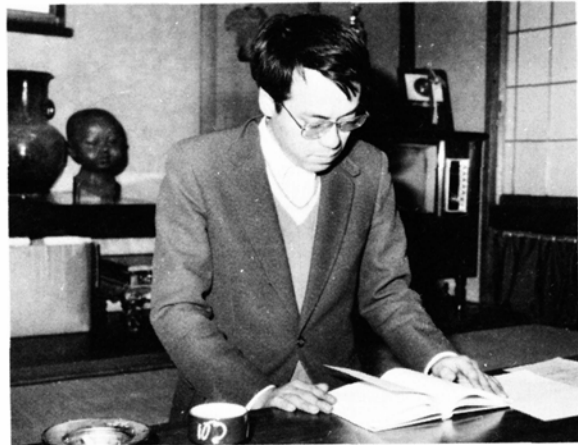
的にも優れた面白いものがあるようです。とりわけ、天藤真の一連の作品はどれをとっても面白く、内容豊かです。感覚的にも若さがあふれていると思います。なかでも「大誘拐」は本当に傑作だと思います。

テレビ化されたこともあり、ご存じの人がいると思いますが、大富豪のおばあさんが誘拐されるという事件をめぐる、ストーリーが展開していきます。

普通では考えつかない奇抜な発想にはびっくりさせられます。ジャンルでいえばユーモア推理小説なのでしょうが、単なるドタバタ喜劇ではありません。読む人をストーリーに引き込むとともに、とても和やかにさせてくれる作品だと思います。

ゆたかな人生

灯火親しむ季節です。静かに読書にふけるのは楽しいもの。市内には日ごろから生活の中に読書を取り入れ、安らぎと潤い、そして明日への鋭気を養う糧としている人がたく



本との出会い

さんいます。その中から4人の方に登場してもらい、読書の魅力と心に残る1冊、について語ってもらいました。あなたもきょうから読書を楽しんでみませんか。



『NHK 人生読本』

滋味あふれる人生論

松田 勉さん (美川町)

私の読書遍歴は、乱読でしたからざっと1,000冊以上にはなると思います。若いときは文学全集や推理小説・戦記ものなど、いろいろ読みあさりました。

今でも読書は毎日欠かせない生活の一部です。私なりの老化防止策ですし、頭を使うので心の健康を保つのもいいんですよ。

それになんといっても、時代に乗り遅れることなく、ざん新な考え方を

を養うことが出来ますから……。

近年は、作家の人柄がにじみでる随筆とか人生論などをテーマにしたものをよく読みます。

なかでも「NHK 人生読本」はいいですね。芸術家・学者・デザイナーなど各界の第一人者や、地味なが

ら独自の道を歩む人々の人生論を編集したものです。

豊かな人生経験を持つ人が語る話だけに、滋味あふれる内容で深い味わいがあります。それに、気楽に読めるのもいいですね。

そのほか、忘れられない本には五味川純平の「人間の条件」があります。太平洋戦争末期を背景に、戦争と人間をテーマにした長編で、過去2回読んだことがあります。戦争への怒りと人間愛が印象に残っておりぜひもう一度読みたい本です。

田辺聖子『新源氏物語』

古典がより親しいものに

横井 久枝さん(阿難祖地頭方)

小学校のときから中学・高校と、ずっと図書館に入っています。

いろんなものを読んできましたけど、今でもよく覚えているのはウェブスターの「あしながおじさん」や下村湖人の「次郎物語」などです。

最近は、推理小説やSFもの、恋愛小説などが主流になっています。

推理・SF小説は読み始めると、どんどんストーリーに引き込まれてしまい、本当に面白いですし、胸がワクワクします。半村良、横溝正史、星新一などの作品はよく読みます。

ただ、こういった小説には読んだ後の余韻というものが、残念ながらありません。

その点、2年前に読んだ「新源氏物語」はとって印象的でした。もともと歴史ものでは平安時代の作品に興味があるんですけど、この本は源氏物語の原本に沿って現代語に読みやすく書かれており、長編ながら一気に読み通しました。

光源氏がさまざまな恋愛をしながら、人間的に成長していく様子が、とって優雅でロマンチックに描かれているんです。

原本は世界的にも著名な古典ですけど、文語体で難解です。この本はそういった障害を取り払ってくれ、身近な名作として親しみが持てると思います。



こんな文化財知ってる？

寺町通り

土井家の墓所

1682年から189年間大野藩主を務めた土井家のぼだい寺は、東京浅草の誓願寺と大野の寺町にある善導寺です。

善導寺には天和2年(1682)に入封した初代利房、2代利知、4代利貞、6代利器、7代利忠、8代利恒、9代利剛をはじめ、一族の墓が20基近くあります。(40年1月に市文化財に指定)

小山小学校前

狐除地蔵

小山小学校の前に多くの地蔵が安置されている堂があります。

昔は小山地区一帯は、うっそうとした雑木林でした。隣村へ用たしに行く途中でキツネに化かされないように祈るため、あちこちに地蔵がありました。

その後、開拓が進みキツネやタヌキなどがいなくなったので、地蔵を一カ所に集めたのがこの狐除地蔵の堂です。

木本

薬師堂の絵馬

その昔、木本には松平氏の城がありました。

松平氏は薬師如来様を大変信仰されました。

領地替えの時に、この村の高橋さんの先祖にお堂を守るように命ぜられたので、300年近くも手厚く守ってきました。

お堂の中には多くの古い絵馬が保存されているほか、裁縫の腕が一日も早く上達するようにと祈って、習い子が奉納した小さい着物もたくさん保存されています。

堂の近くには瓜割清水という冷たいお清水が流れています。

11月3日は文化の日。市内にはわれわれの祖先が築き上げた貴重な文化財が数多くあります。それらを後世へ引き継ぐことは私たちの使命です。

今月は文化の日になんで郷土史研究家の坂田玉子さんに、有終西小学校6年生の中村容子さんと石井裕子さんの2人が案内してもらいました。



土井家墓所

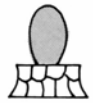


狐除地蔵



薬師堂の絵馬

下庄小
⊗



天保の飢きん塚
(中野)



土井家墓所
(寺町)



篠座神社

小山小
⊗



狐除地蔵
(下舌)

薬師堂の絵馬
(木本)



たのしく訪ねました



天保の飢きん塚



南専寺の山門

南専寺の山門と庭
(下唯野)



一里塚の大榎



一里塚の大榎
(榎)

下庄小学校前

天保の飢きん塚

天保のころ、日本各地は悪天候が続いて農作物が実らず、大飢きんで人々は大変苦しみました。

大野でも食べ物を探してさまよいつつ死んでしまう人や、クズの根や野の草など手当たり次第食べて病気になる死んだ人々もたくさんいました。その時死んだ人々を埋めた墓があちこちに建てられました。

この墓はそのなかの1つで、昔は花山にあったのがここへ移されたとのこと。

下唯野

南専寺の山門と庭

約500年前の桃山時代に建てられたもので、大野では最も古い門です。

江戸中期に永平寺の勅使門であったものをここへ移し建てられたと伝えられており、美術的にも大変優れています。

高さ4.5m、幅4.5m、奥行き4.5mのケヤキ造りで、屋根はヒワダぶきになっており、前後には素晴らしい彫刻が刻まれています。

寺の後には江戸時代中期の典型的な庭園があります。(山門・庭とも40年7月市文化財に指定)

榎

一里塚の大榎

徳川幕府は街道を旅する人々のために、一里(約4^{きり}町)ごとに榎を植えました。一里塚と呼ばれ、旅人は目印として大変重宝しました。

大野の町から木本へ行く道路は、当時とても重要な街道であり、多くの旅人は大榎の枝の下でしばし腰を休めたことでしょう。残っているのはここだけですが、老樹になってしまいました。(33年7月市文化財に指定)

カヤぶき屋根を修復

56豪雪で大きな被害

国の重要文化財「橋本家」



足場が組まれた橋本家

市教育委員会はこのほど、56豪雪で被害を受けた国の重要文化財「橋本家」の修復工事に着手しました。

大雪で傷んだのは主にカヤぶき屋根の部分で、カヤがずり落ちて骨組みが露出したり、軒が押し下げられたりしました。

このため、文化庁に災害復旧事業の申請をする一方、ビニールシートをかぶせて応急処置をしていました。

ふき替えられる屋根は232平方メートルあり、修復作業は昔ながらの工程で念入りに進められます。

材料のカヤは、市内だけではならず、市外からも取り寄せています。

総工事費は650万円で、今月末には完成の予定です。

橋本家は入り母屋造り117.5平方メートルで、江戸時代中期の建物です。県北東部の豪雪地帯の代表的な農家住宅として、昭和44年12月に国の重要文化財に指定されました。

その後、維持管理の面から48年11月に集落北の宝慶寺境内へ移されました。

雪国にふさわしく、はりは太く、しかも二重にかかっているのをはじめ、自然木を巧みに使ってあるなど当時の建築様式を知ることが出来る貴重な文化財です。



④ 瑞祥寺

横町通りを打波屋前で折れると最初にあるのが瑞祥寺です。10月10日には西国33カ所観音菩薩御絵像33年大法要が営まれました。御絵像は縦2.1メートル横0.9メートルの紙本大幅で、極彩色の画像です。上部には寺の名と観音菩薩が円形の中に描かれ、その左下に御詠歌が書かれ、その説明が見事な絵で表現されています。

年代・作者は不詳ですが江戸中期のものと言われ、

全部で33幅あります。

第2次世界大戦中、東京の戦災で寺院や民家がほとんど焼失しましたが、幸いにもこの御絵像は防空壕の中にあつて難を免れ、ある方のすすめもあり、壇家の人々の大きな支援を得て大野に迎えられました。長谷川義雲住職は、33周年を記念して一般の方々にも公開して、菩提心を起こしてもらいたい気持ちから、この大法要を営まれたそうです。

仏像、仏画など多くの寺宝がありますが、開山直筆の「万年号」という掛け軸や開山雷澤禪師御詞書など大切に保存されています。

1 去年は25世中興和尚50回忌を記念して寺の略誌を、仏教史学を研究し、このほど文学博士号を得られた坪内晋先生に依頼してまとめられました。帰りがけにふと気がつくと、門の近くには赤紫色のかれんな風鳥花がいっぱい咲いていました。(T生)



観光写真コンテスト

特賞に沢田さん

市観光協会が今年初めて行った「観光写真コンテスト」には、市内外から64点の応募がありました。

作品は大野城・朝市・おおのおどり・仏御前の滝・九頭竜滝など、市内の代表的な観光地や行事を見事にとらえた力作ばかりでした。

審査の結果、特賞に沢田鉄雄さん(糸魚町・仏御前の滝)、1席に長瀬清吉さん(森目・刈込池)北川秀二さん(北大野・春雪大野城)毛利隆明さん(勝山市片瀬・おおのおどり)が選ばれたほか、2席5点、佳作10点が決まりました。

お知らせ

◆公開講座にどうぞ

大野・勝山地区広域行政事務組合では、次のとおり公開講座を開きます。どの会場も参加は自由です。多数聴講して下さい。

一勝山会場一

〈日時〉11月6日(金)午後2～4時

〈場所〉勝山市教育福祉会館

〈講師〉福井大学教授 中峠哲朗氏
(雪に強いまちづくりを目指して)

一大野会場一

〈日時〉11月12日(木)午後2～4時30分

〈場所〉大野市農協会館

〈講師〉県立短期大学講師 石墨慶一郎氏(酒米の今後の進む方向について)
岐阜県郡上郡高鷲村長 永瀬利一氏(大根づくり日本一を目指して)

◆農林業祭は7・8日に

収穫の喜びを味わい併せて農林業について考える、今年の農林業祭は7・8日、市民会館で開かれます。

野菜の即売会・動物広場・バザーなどの各種コーナーや演芸など、盛りだくさんの行事が皆さんをお待ちします。

◆子供劇場の出演者募集

第3回子供芸術劇場として創作劇「さよならプチプチ島」が、12月13日(日)市民会館で公演されます。

劇の会ではこれに出演を希望する幼児(5歳)～小学生の子供を募っています。

人数は30人で、男女を問いません。

スマイル

『晩 酌』
水 増し

節約夫人

便槽に薬品を入れないで

微生物が死に 処理に支障

衛生処理場へ搬入されたし尿は消化方式という方法で処理されています。この方法は微生物菌を培養し、その分解作用で汚水を清浄水に変えるものです。

ところが最近、し尿の中に微生物を殺してしまう薬品や消毒薬品類が混じっていたり、機械の機能を阻害する雑物が目立って多くなっています。

適正に処理が出来るようにするため①クレゾールや殺菌性の強い防臭剤・酸性薬品・強アルカリ・

油類②土・砂・石・木片・金属・皮ビニール・プラスチックなどを絶対に便槽の中に入れて下さい。

くみ取りは早めに

12月に入るとくみ取りが込み合いますし、一気に処理場へ搬入されても支障をきたしますので、早めにくみ取りを依頼して下さい。

くみ取り料は12月1日～2月末日は冬期料金として、普通料金の5%増になります。

内容は「幸せのおどり」と「インデียนのおどり」です。

申し込みは市教委社会教育課(6-1111内線229)へ。

◆11・18日に成人病追加検診



成人病の追加検診が11月11日と18日の2回、大野保健所で行われます。時間は午前9時30分～午後3時です。35歳以上の方で今年まだ受けていない人は、ぜひ受診して下さい。

◆中小企業退職金共済へ加入を

中小企業退職金共済制度は、中小企業に働く従業員がやめるときに退職金が支払われる制度で、国が運営しています。

掛け金は全額免税で、退職金には国の補助金が付きます。

この制度に加入すると、事業主は福利厚生施設を造る場合の資金を低利で受けられたり、前から勤めている従業員は加入前の期間を通算することが出来るなど、労使双方が大変有利です。

まだ加入していない事業所は、近くの金融機関で申し込み手続きをして下さい。

◆援護相談にどうぞ

軍人恩給や戦傷病者・戦没者の援護について、11月13日(金)午前9時30分～午後3時、有終会館で援護相談が行われます。疑問をお持ちの方は気軽にどうぞ。

◆15日に奥越駅伝競走

奥越駅伝競走大会が11月15日(日)市内を一周するコースで行われます。午前11時市役所前を出発し、全長44*キロを7区間に分けて継走します。

コースは、市役所～西部バイパス～中丁～大門～庄林～真名川大橋～森目～土打～松丸～橋爪～柿ヶ島～下唯野～中休～佐開～稲郷～千歳～下舌～下黒谷～鍛掛～西部バイパス～三番線～市役所です。

沿道の方は各選手に声援をおくって下さい。

◆県政バス教室


県政バス教室が11月11日(水)に行われます。今回はこのほど完成した県庁舎をはじめ、福井臨工や朝倉氏遺跡などを見学します。

参加希望者は、県広報課県民相談室(福井市大手3丁目17-1)へ住所・氏名・年齢・電話番号を往復はがきを書いて申し込んで下さい。

市民カレンダー

11月10日～11月24日

10 火	献血 インフルエンザ 交通事故相談	10.00～15.00 13.30～14.00 10.00～16.00	日本コンデンサー 阪谷小・乾側小 市役所	行政相談 人権相談 胃検診	10.00～15.00 13.00～16.00 9.00～11.00	上庄公民館 上庄公民館 有終会館
11 水	世界平和 記念日	成人病検診 結婚相談	9.30～15.00 10.00～15.00	大野保健所 有終会館	市営バス白山線が運休 大野三番と鳩ヶ湯を結ぶ市営バス 白山線は、11月21日（土）から冬期 間運休します。運転再開は来年4月 中旬の予定です。	
12 木	満月	愛育会育児相談 心配ごと相談	13.30～15.00 9.00～12.00	下庄公民館 市役所		
13 金		金融相談 援護相談	13.00～16.00 9.30～15.00	商工会議所 有終会館		
14 土						
15 日	家庭の日 七五三	奥越駅伝競走大会	9.30～14.00	市内一周	休日当番医	内科 外科 弘川医院
16 月		人権相談	13.00～16.00	大野公民館		
17 火		社会保険年金相談 1歳半児検診	10.00～15.00 13.00～14.00	織物工業組合 有終会館	経営相談	13.00～16.00 商工会議所
18 水		成人病検診 眼の更生相談	9.30～15.00 13.00～15.00	大野保健所 有終会館	麻しん 結婚相談	13.30～14.30 10.00～15.00 医師会館 有終会館
19 木		心配ごと相談 交通事故相談 無医地区診療	9.00～12.00 10.00～16.00 13.30～15.00	市役所 市役所 下打波集会場	今月の納税 国民健康保険税 第3期分 11月30日までに納めて下さい。	
20 金		行政相談 労務相談 インフルエンザ	10.00～15.00 13.00～16.00 13.30～14.00	富田公民館 商工会議所 上庄小学校		
21 土	寄生虫病 予防運動	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館		
22 日	小雪	市民バスケット	8.30～15.00	大野高校	休日当番医	内科 鳥山医院 外科 安間整形外科医院
23 月	勤労感 謝の日				休日当番医	内科 高井医院（日吉町） 外科 山川医院（伏石）
24 火		愛育会育児相談 特設人権相談	13.00～15.00 13.30～16.00	上庄公民館 乾側公民館		



庭先の菊のツボミ
が日増しにふくらむ
ころ、街のあちこち
の大鉢作りの菊も開
花する。柳廼社境内

では愛好者の菊花展が開かれ、菊特有の香りがいっぱいになる▼沿道の夜店の明かりが一際さわやかなころには、夜気も冷たく肌をさす。霜降月、雪見月の異名があるように、寒気は一層厳しくなる▼ついこの間まで草むらにすだき、たえなるコーラスで楽しませてくれた虫の声もか細く、ゆく秋を刻むように一声、一声鳴く▼夕日が落ちるのも早く、夜は長くなっていく。灯火親しむの候、勉強に読書に最もよい季節。「母さんが夜なべをして……」という唱歌があるが、秋の夜長を楽しみながらの夜なべもある▼きょうからは恒例の文化祭。余暇に作った思い思いの労作が展示されて、訪れる者の心をナゴませてくれる▼先に県が行った「文化のさとづくり推進のための調査」でも、文化という言葉のイメージに対して「心豊かに暮らすこと」「歴史的遺産が保存されていること」「美術や音楽などの芸術が盛んなこと」と答えているが、言葉だけでは心は豊かにならない▼先月初旬行われた市美術協会創立記念会員展に市外からの鑑賞者があつたそうだが、ミツバチが花を求めるように香り高い芸術に触れることこそ、心豊かな暮らしに大きくプラスする▼「忙中閑あり」で、忙しい生活の中にもヒマを見つけて物をつくる楽しみ、喜びを体験しよう。

（Y生）

発行 福井県大野市 編集 秘書広報課
（電話 01111） 印刷 柳松浦印刷